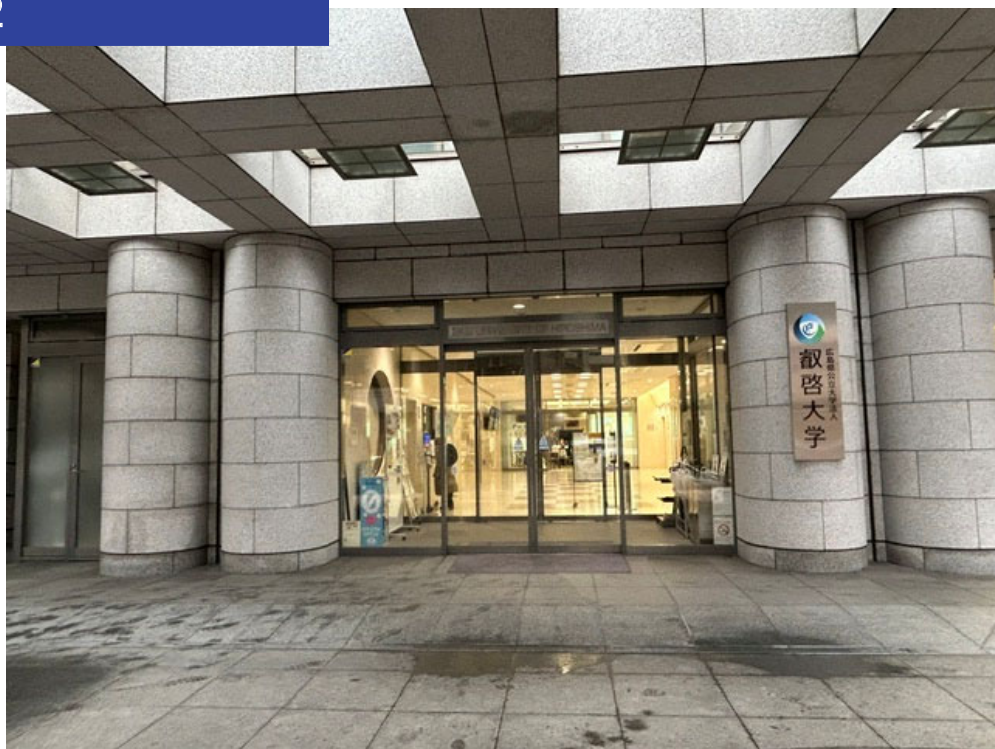




教員特別研究(その他研究)成果報告書 配分研究費:1,052千円

本学における実践力育成をめざした教育のあり方についての研究

目的・概要

大学に対して実践力を備えた人材の育成に対する要請が高まっていることを踏まえ、課題解決型教育やデータ活用型教育をはじめとして、実践力の育成をめざした他大学の動向を把握した上で、本学の特性に合った実践力育成教育のあり方や文化政策学科のリサーチ＆プランニング系科目のバージョンアップの方向性を構想する。本研究の実施にあたり、国内の大学や高校を訪問調査するほか、文化政策学科の卒業生を対象とした調査を行う。

期間

令和6年4月1日～令和8年3月31日

研究担当者

文化政策学部 文化政策学科 教授 田中 啓(研究代表者)
文化政策学部 文化政策学科 教授 小杉 大輔
文化政策学部 文化政策学科 准教授 小林 淑恵
文化政策学部 文化政策学科 准教授 野島 那津子
文化政策学部 文化政策学科 特任教授 森山 一郎

スケジュール

令和6年4月～9月 令和6年12月28日～令和7年1月20日 令和6年10月～令和7年12月 令和7年8月～令和8年2月	基礎調査、科目検証方法の検討 卒業生に対するアンケート調査 リサーチ＆プランニング系科目の検証 大学(4校)、高校(3校)、静岡県総合教育センターに対するインタビュー調査 調査結果分析、結果とりまとめ
令和8年1月～3月	

研究成果

【Ⅰ.実践力の育成をめざした教育の動向】
・大学に育成が求められている人材像や教育のあり方を把握した。
・国内大学における実践力育成教育の動向を把握し、4大学に対するインタビュー調査を実施し、実践力育成教育の具体的な取り組み方について示唆を得た。
・近隣の高校等を訪問して、情報教育や探求学習の現状を調査するとともに、高校側の大学の教育に対する期待を把握した。

【Ⅱ.リサーチ＆プランニング系科目の検証とバージョンアップ】
・リサーチ＆プランニング系3科目について科目運営状況と成果を詳細に把握した。
・さらに卒業生に対してアンケート／インタビュー調査を実施して、リサーチ＆プランニング系科目が卒業後に役に立った点や職場で求められているスキルや能力について把握した。
・検証結果や調査結果を踏まえてリサーチ＆プランニング系科目のバージョンアップの具体的な方向性を導いた。
・リサーチ＆プランニング系科目を高校生向けに紹介するための小冊子を編集・印刷した。

【Ⅲ.本学における実践力育成教育の現状と今後の方向性】
・本学全体として実践力育成教育に対してどのように取り組んでいくべきかについて検討し、基本的な方向性を導いた。



今後の研究成果の還元方法

一義的には、本研究の成果をリサーチ＆プランニング系科目の改善やバージョンアップに直接的に反映させていく。すぐに実行可能なものは直ちに科目の運営や指導に取り入れていき、科目間の調整やシラバスの修正が必要なことについては、次年度から科目に反映させていく。また次のカリキュラム改正時に反映させるものについては、学科内で共有して、カリキュラム改正に向けて準備をしていく。
一方、全学的な教育のあり方に反映できる内容については、学内で共有できる形で文書化して提供していく。
さらに、本研究の成果を用いて文化政策学科を高校等に対してわかりやすく広報していく方策も検討する。